

atect

# 決算説明資料

2011年3月期第二四半期

atect

**JASDAQ**  
*Listed Company 4241*

2010年11月  
株式会社アテクト  
IR担当

**第1部 2011年3月期第二四半期決算概要**

**P2**

**第2部 事業別の今後の展望**

**P15**

**第3部 参考資料**

**P24**

# 第1部

atect

2011年3月期第二四半期決算概要

[連結]

売上高

【16億66百万円】

前年同四半期比1.0%減

営業利益【31百万円】

前年同期比1百万円増、1.7%増

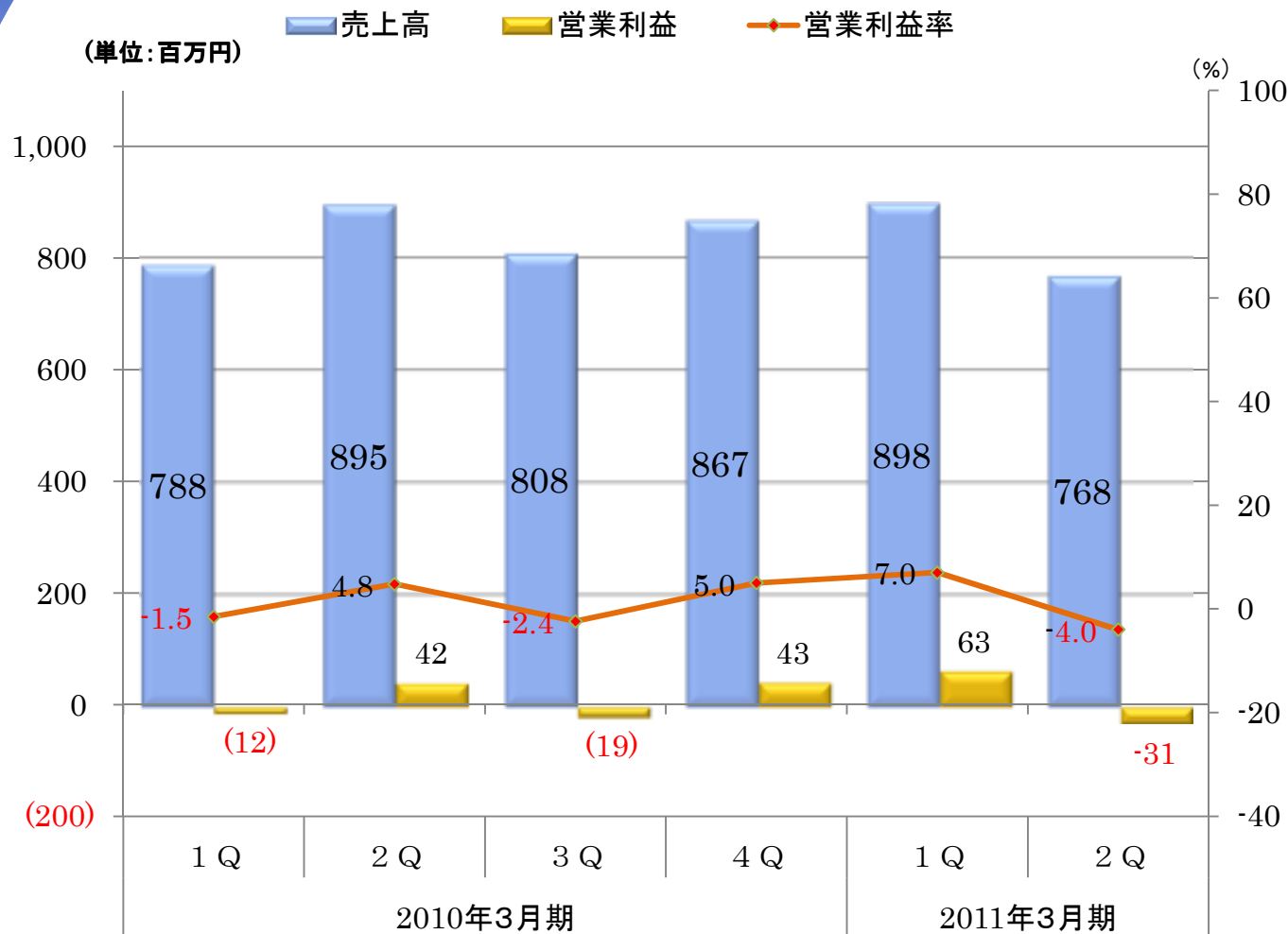
- ① 半導体資材事業 : 第2四半期に入り、パネル市場の在庫調整、欧州経済不安等による需要低迷。
- ② 衛生検査器材事業 : 顧客数5%増の11,000社に。
- ③ プラスチック造形事業 : 受注回復基調。第2四半期は黒字転換。
- ④ ポリマー微粒子事業 : 中国、欧州市場を視野に入れた営業活動の展開。
- ⑤ PIM事業 : エネルギー・自動車関連の開発が進展。

(単位:百万円)

	10年3月期 第二四半期 (個別)	11年3月期 第二四半期 (個別)	前期比(%) (個別)	11年3月期 第二四半期 (既存事業)	10年3月期 第二四半期 (連結)	11年3月期 第二四半期 (連結)	前期比(%) (連結)
売上高	1,546	1,503	-1	1,502	1,684	1,666	-1
売上総利益	540	554	6.4	0	535	569	6.4
(粗利益率)	34.9	36.9	-	-	31.7	34.1	-
(販管費比率)	26.1	30.2	-	-	29.9	32.3	-
営業利益	136	94	1.7	120	31	31	-
(営業利益率)	8.8	6.2	-	8.0%	1.8	1.9	-
経常利益	120	51	-	-	14	△19	-
(経常利益率)	-	3.4	-	-	0.8	△1.1	-
四半期純利益	58	23	-	-	△49	△51	-

# 利益動向-四半期推移

半導体資材事業の受注の落ち込みと、円高による為替差損発生のため、収益悪化



(単位:百万円)

	11年3月期 第二四半期 (連結)	構成比 %	10年3月期 期末 (連結)	構成比 %	直前期比 %
<b>流動資産</b>	2,005	44.1	1,974	45.0	12.8
現金及び預金	969		807		
受取手形、売掛金	525		657		
たな卸資産	439		417		
その他	73		91		
<b>固定資産</b>	2,541	55.9	2,411	55.0	▲ 1.8
有形固定資産	2,344		2,188		
無形固定資産	125		147		
投資その他の資産	71		76		
<b>資産合計</b>	4,545	100.0	4,386	100.0	4.3
<b>流動負債</b>	2,176	47.9	2,011	45.8	1.4
支払手形、買掛金	434		427		
借入金、社債	1,499		1,248		
その他	242		335		
<b>固定負債</b>	852	18.7	760	17.4	12.6
借入金、社債	669		610		
その他	183		150		
<b>負債合計</b>	3,029	66.6	2,771	63.2	4.3
<b>株主資本</b>	1,602	35.2	1,686	38.4	2.5
資本金	729		729		
資本剰余金	649		649		
利益剰余金	322		406		
自己株式	▲ 99		▲ 99		
評価・換算差額等	▲ 113		▲ 87	0.0	
為替換算調整勘定	▲ 113		▲ 88	0.0	
<b>純資産合計</b>	1,516	33.4	1,614	36.8	4.3
<b>負債純資産合計</b>	4,545	100.0	4,386	100.0	4.3
<b>有利子負債</b>	2,392	0.0	2,041	0.0	17.2

有利子負債増加 3.5億円  
 設備投資による固定資産の増加  
 テクニカルセンター取得 1.1億円  
 PIM事業 1億円  
 その他運転資金等 1.4億円

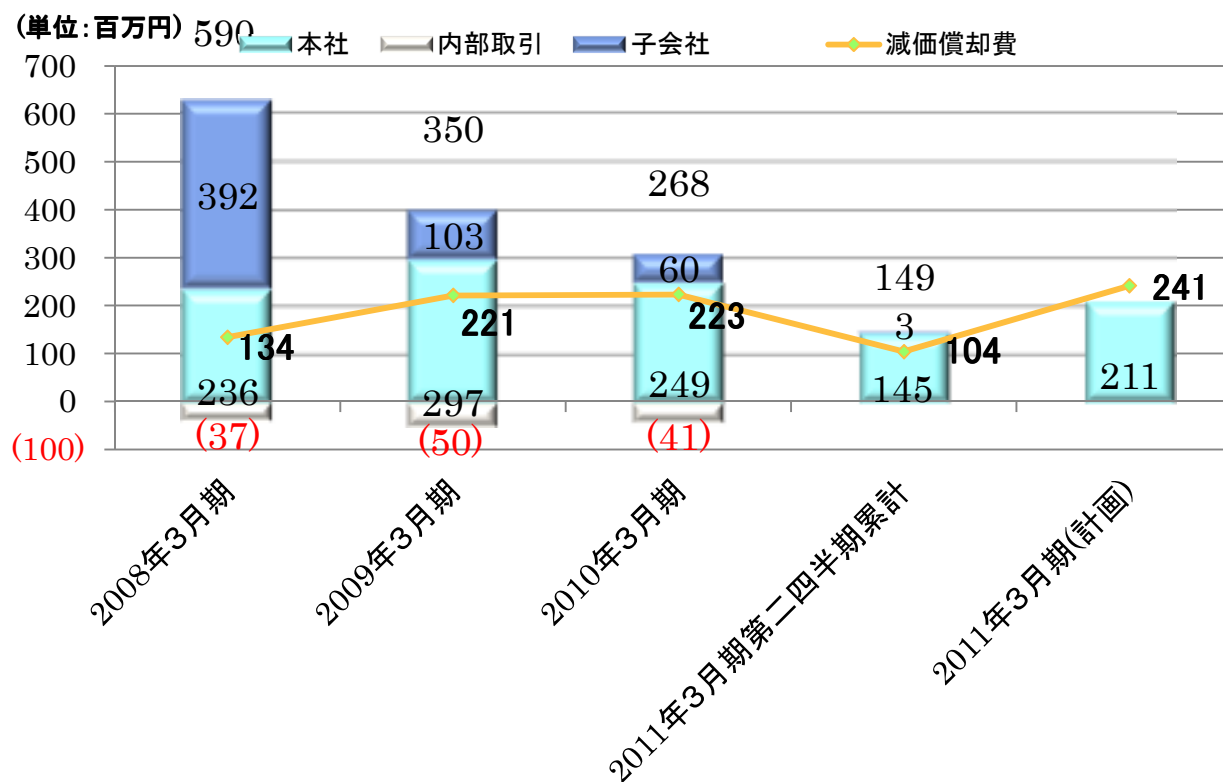
- ・ 営業CF 償却費125百万円(減価償却費・のれん償却費)
- ・ 投資CF 有形固定資産取得△211百万円
- ・ 財務CF 短期借入金の増加200百万円  
長期借入金の返済による支出△334百万円

(単位:百万円)

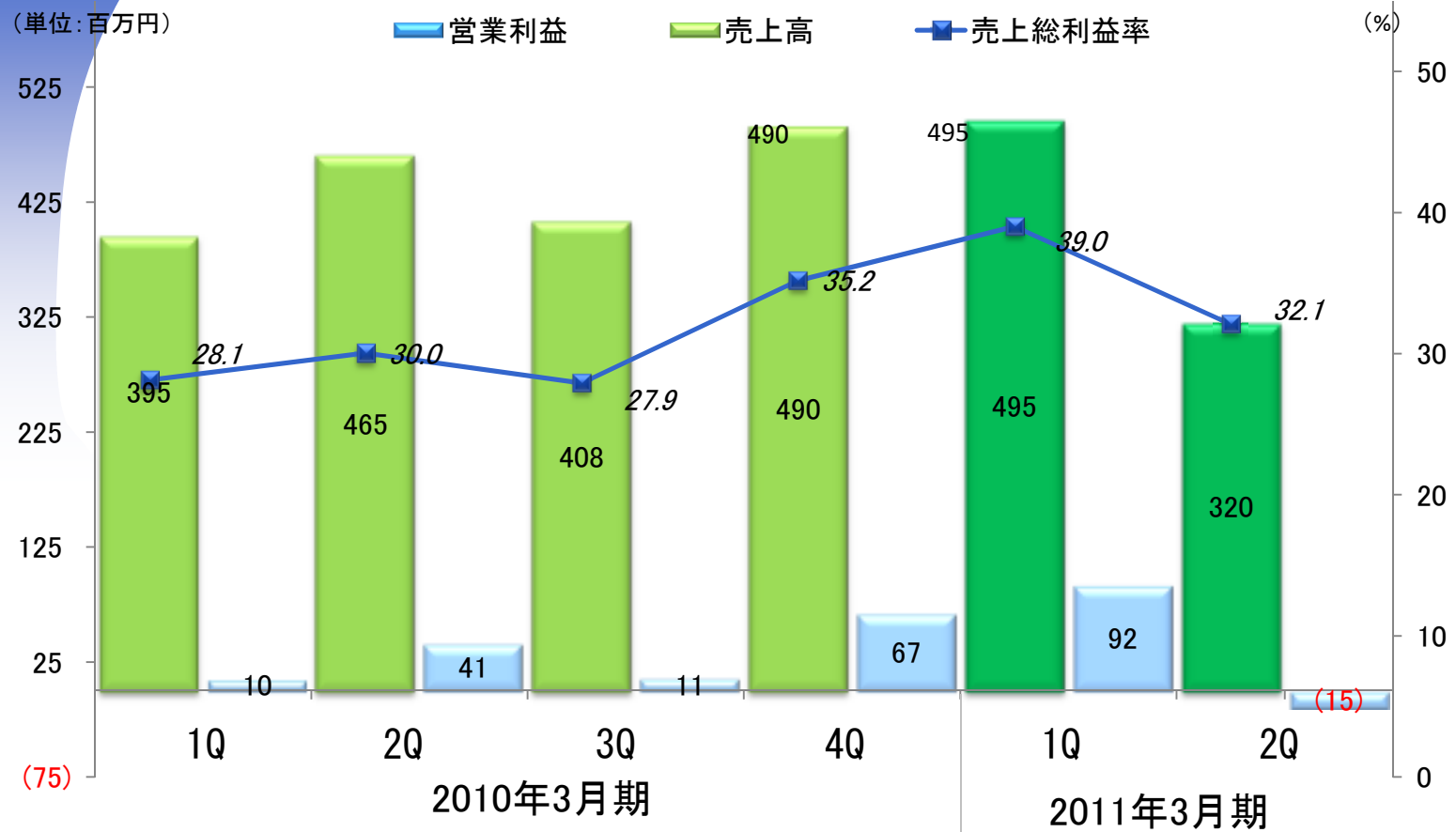
	2010年3月期 第二四半期 (連結)	2011年3月期 第二四半期 (連結)
営業活動によるCF	228	136
投資活動によるCF	△ 36	△ 247
財務活動によるCF	△ 389	255
期末残高	620	888

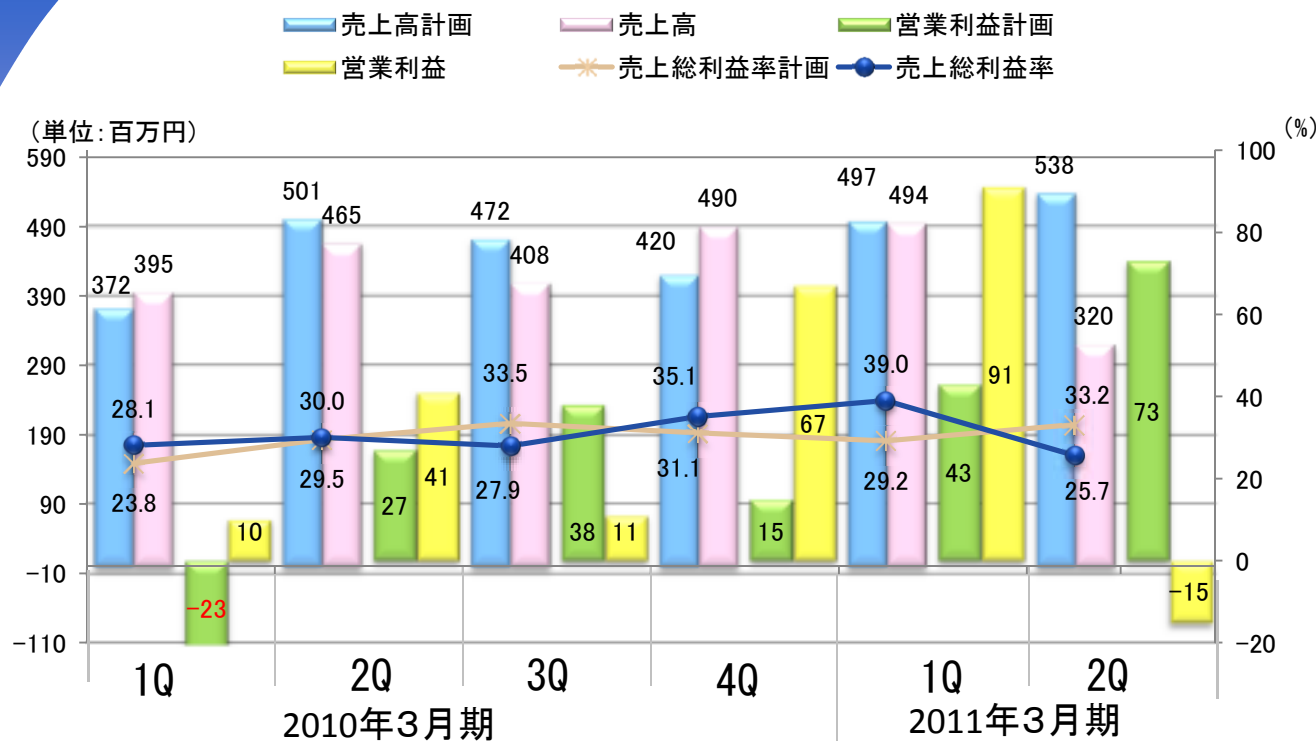


既存事業への投資が一段落、新規事業分野への限定的投資



在庫調整局面に入り受注が減少

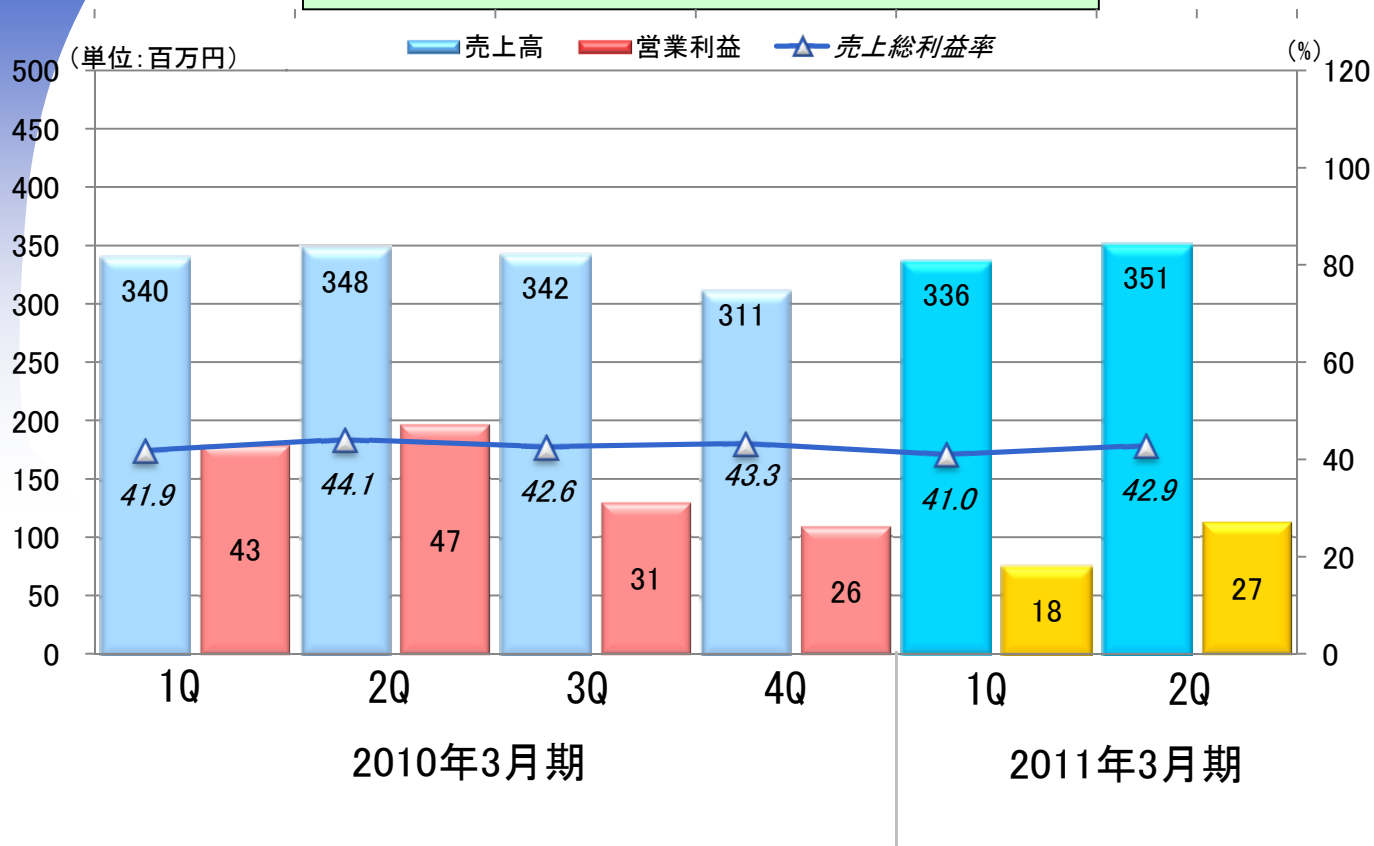


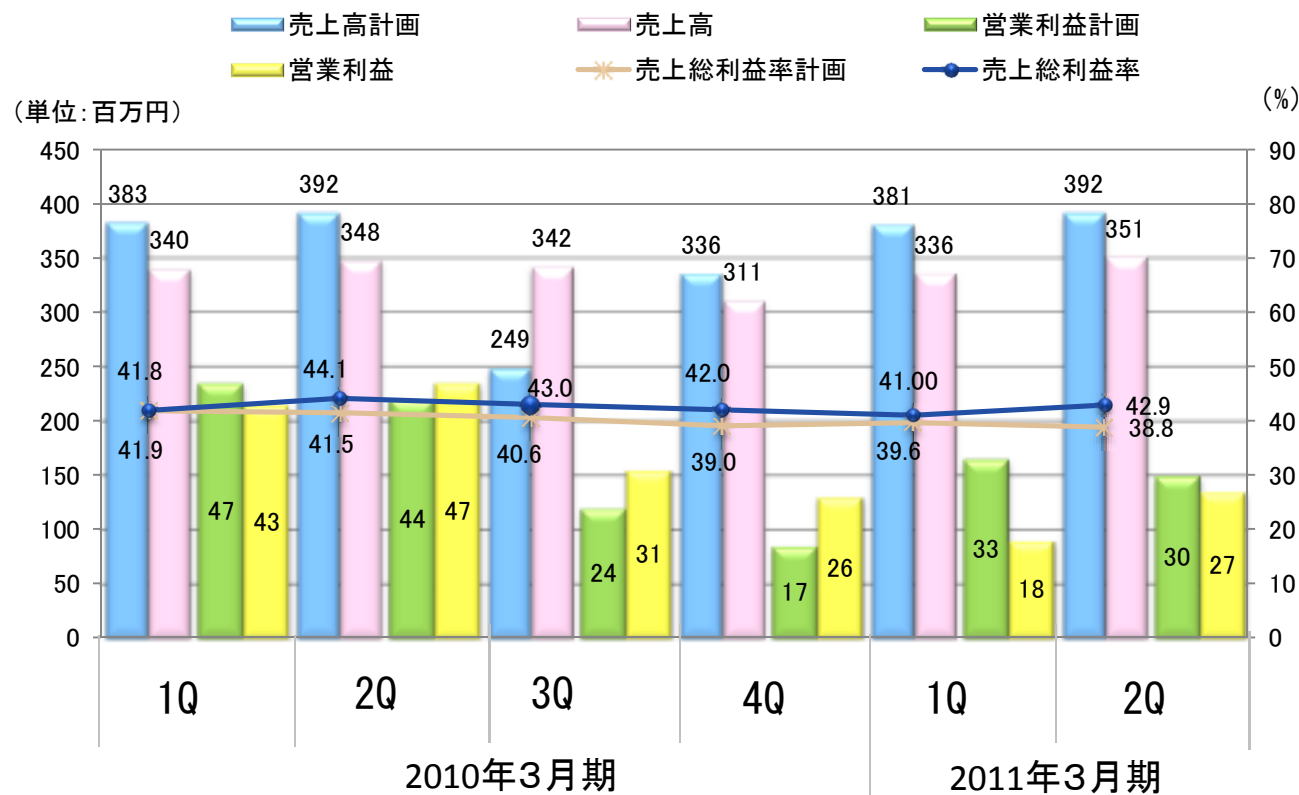


## 差異要因

- ◆ 8月よりパネル市場の調整が入り、受注が減少
- ◆ 8、9月は7月に比べ50%の生産  
(第1四半期は660万m/月に対し、第2四半期は330万m/月の生産)

売上高は前年同期比と同程度で推移

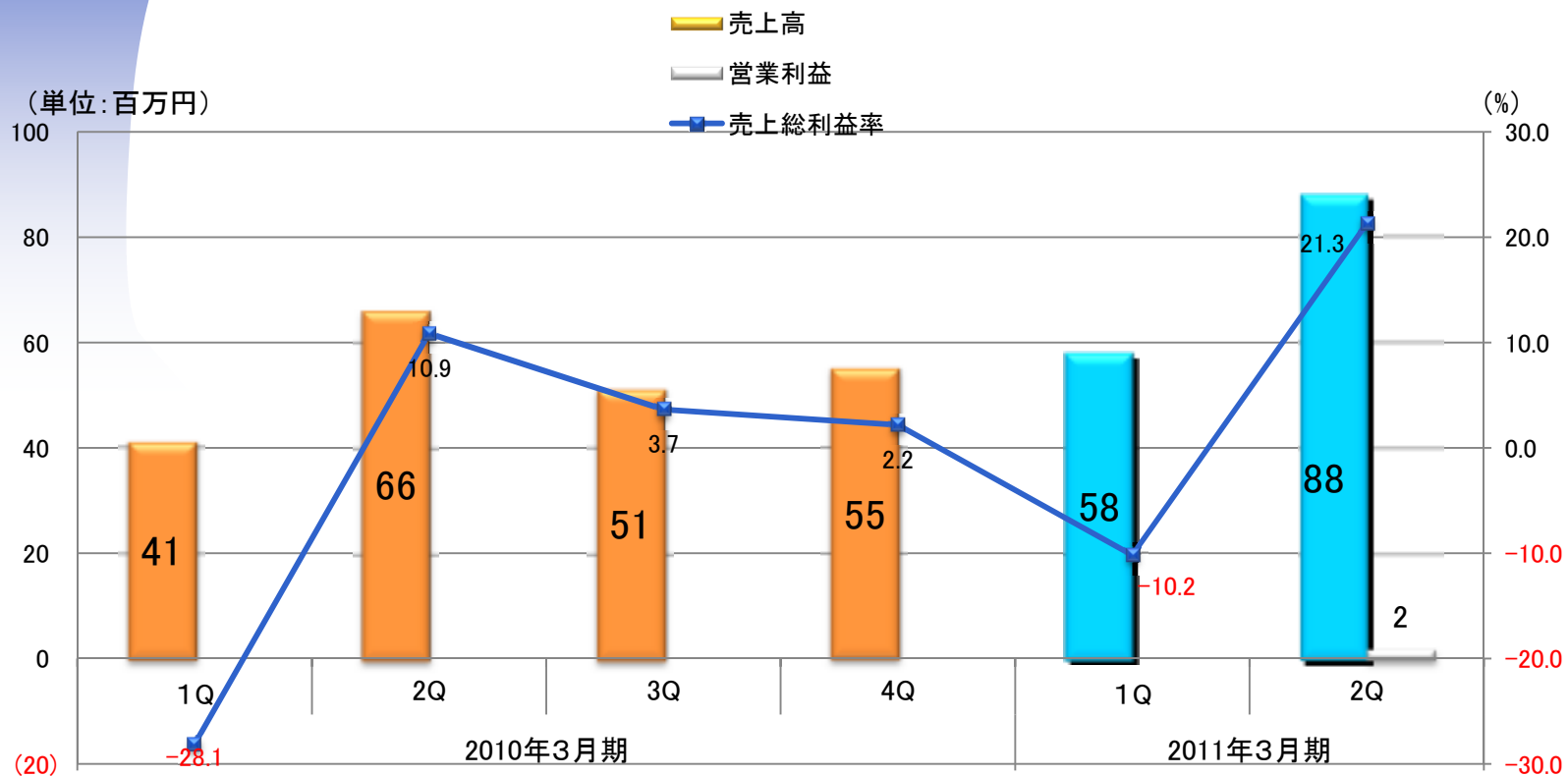




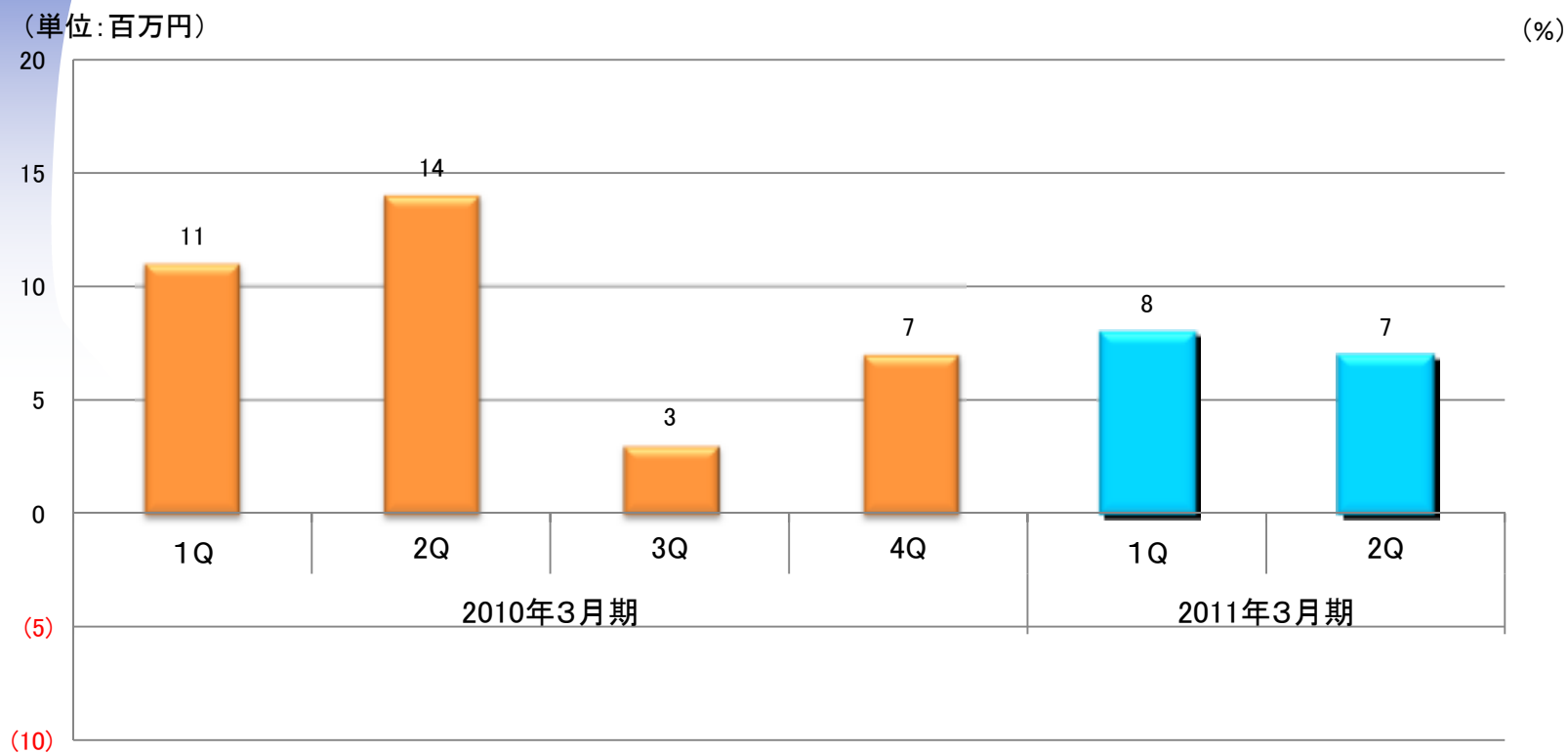
## 差異要因

- ◆ 高付加価値新製品を投入するも、顧客への販売単価減少により計画収益まで届かず
- ◆ 原材料であるポリスチレン単価が計画内で推移、粗利率確保に貢献

- 半導体関連メーカーの設備需要の回復
- 金型技術を基盤に受注増



- 国外での自動車業界の研究活動等に積極的に参加



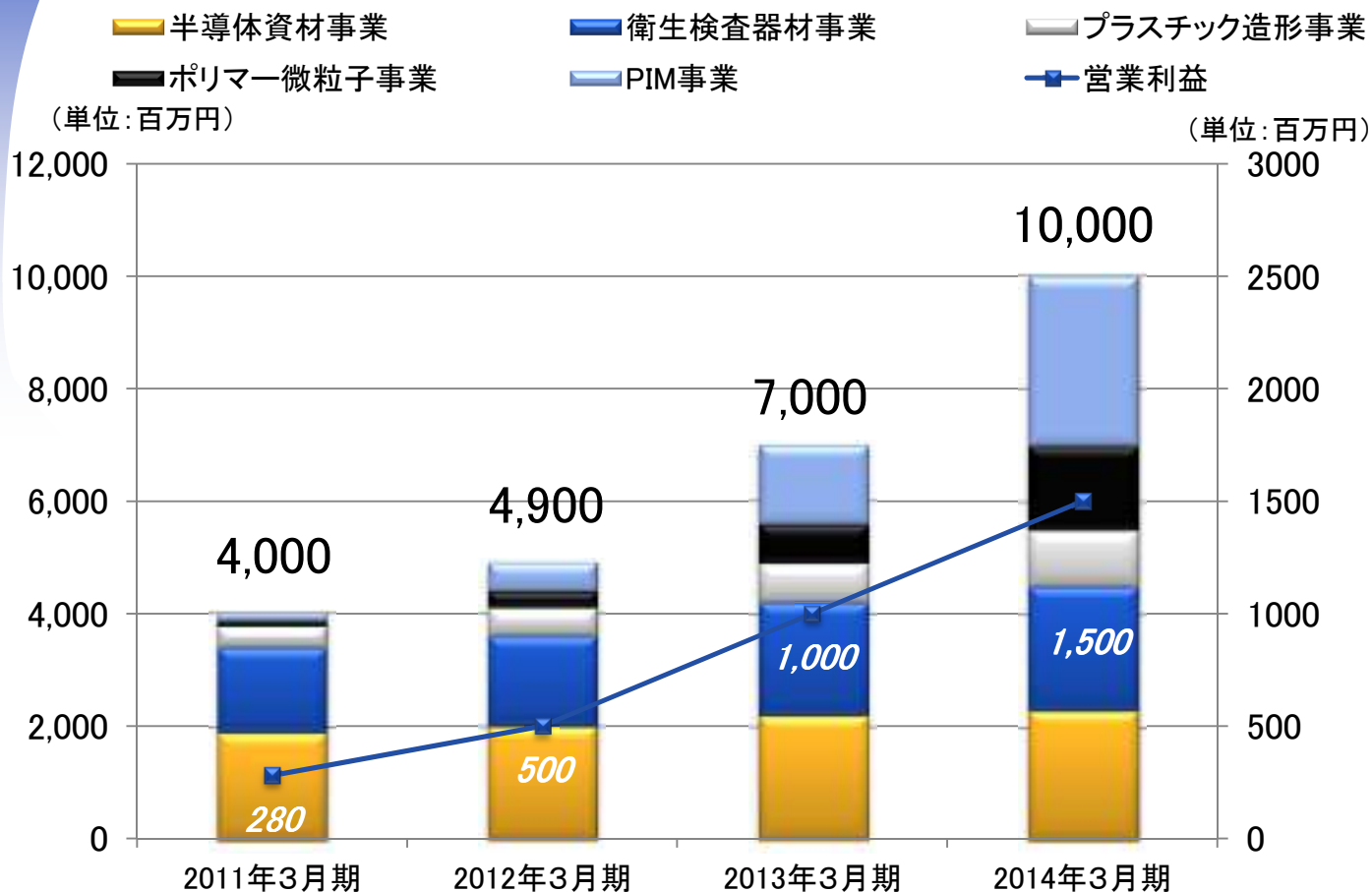
## 第2部

atect

# 事業別の今後の展望



## 中期経営計画(2011年3月期～2014年3月期)

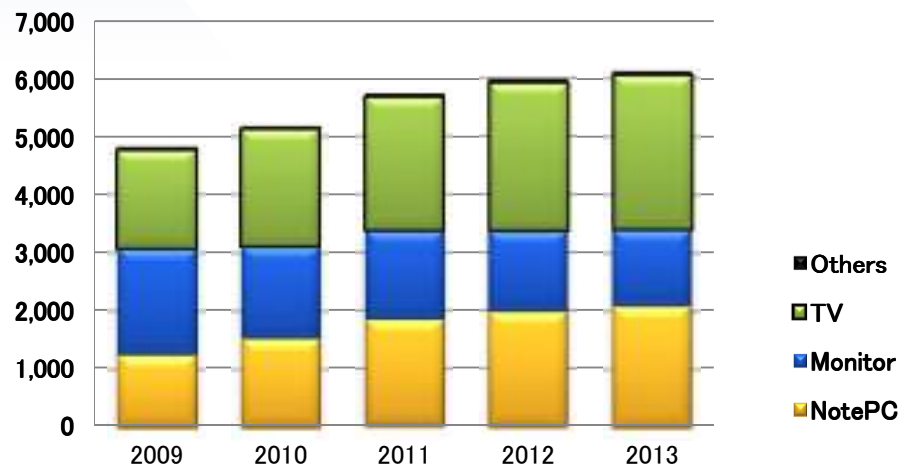


- ◆フルHD対応の大型液晶テレビ
- ◆3Dテレビ・4K2K(超高精細液晶)の本格的な普及

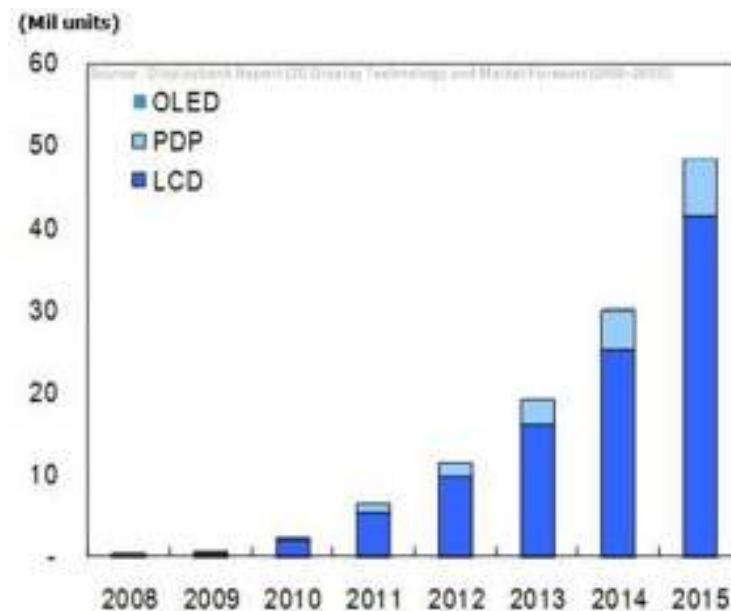


大型化・演算処理速度の高速化に伴うドライバー需要の増加

(単位: Kpcs./CY) 大型LCD用ドライバIC数量規模推移



出典:(株)テクノ・システム・リサーチ  
(2009年LCD用ドライバIC市場調査プロジェクトより)

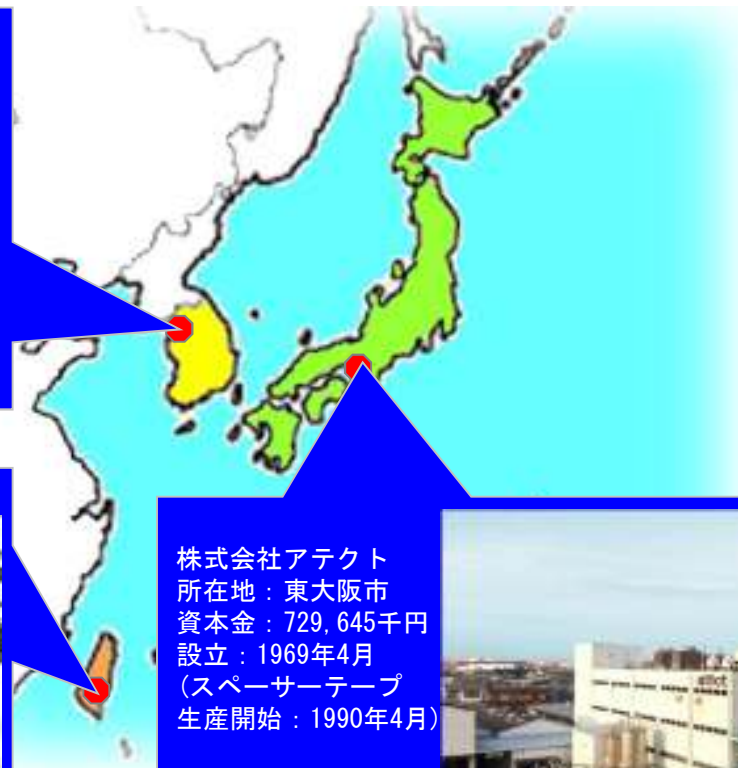


出典:Displaybank Report  
(3D Display Technology and Market Forecast 2008-2015)

## 世界の三大市場(フラットパネル生産拠点)に生産拠点を開設

株式会社アテクト코리아  
 所在地：韓国 京畿道平澤市  
 資本金：2,970,000千KRW  
 設立：2006年10月

韓国市場：500万m  
 シェア：40%弱



安泰科科技股份有限公司  
 所在地：台湾 高雄市  
 資本金：73,300千NTドル  
 設立：2010年11月

台湾市場：350万m  
 シェア：約90%



株式会社アテクト  
 所在地：東大阪市  
 資本金：729,645千円  
 設立：1969年4月  
 (スペーサーテープ  
 生産開始：1990年4月)

日本市場：150万m  
 シェア：98%



### 中国市場への展開

- ・現地法人(上海昂統快泰商貿有限公司)出荷開始



### 生産工程革新

- ・クリーン環境化での生産体制の増強  
高品質・低コスト化

### 新製品開発の強化

- ・ディスポ試験管、ストマタッチ袋など  
11,000社を超える顧客の声に基づいた製品開発



成長市場の開拓による売上高の拡大  
高付加価値製品の投入による利益率の向上

チタン製ローター



IGBTモジュール



エンジンの  
噴射ノズル



ヒートシンク

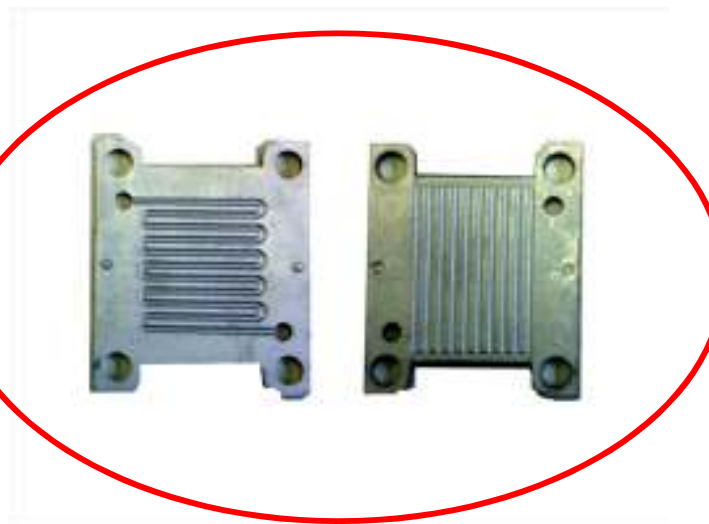


LED用ヒートシンク

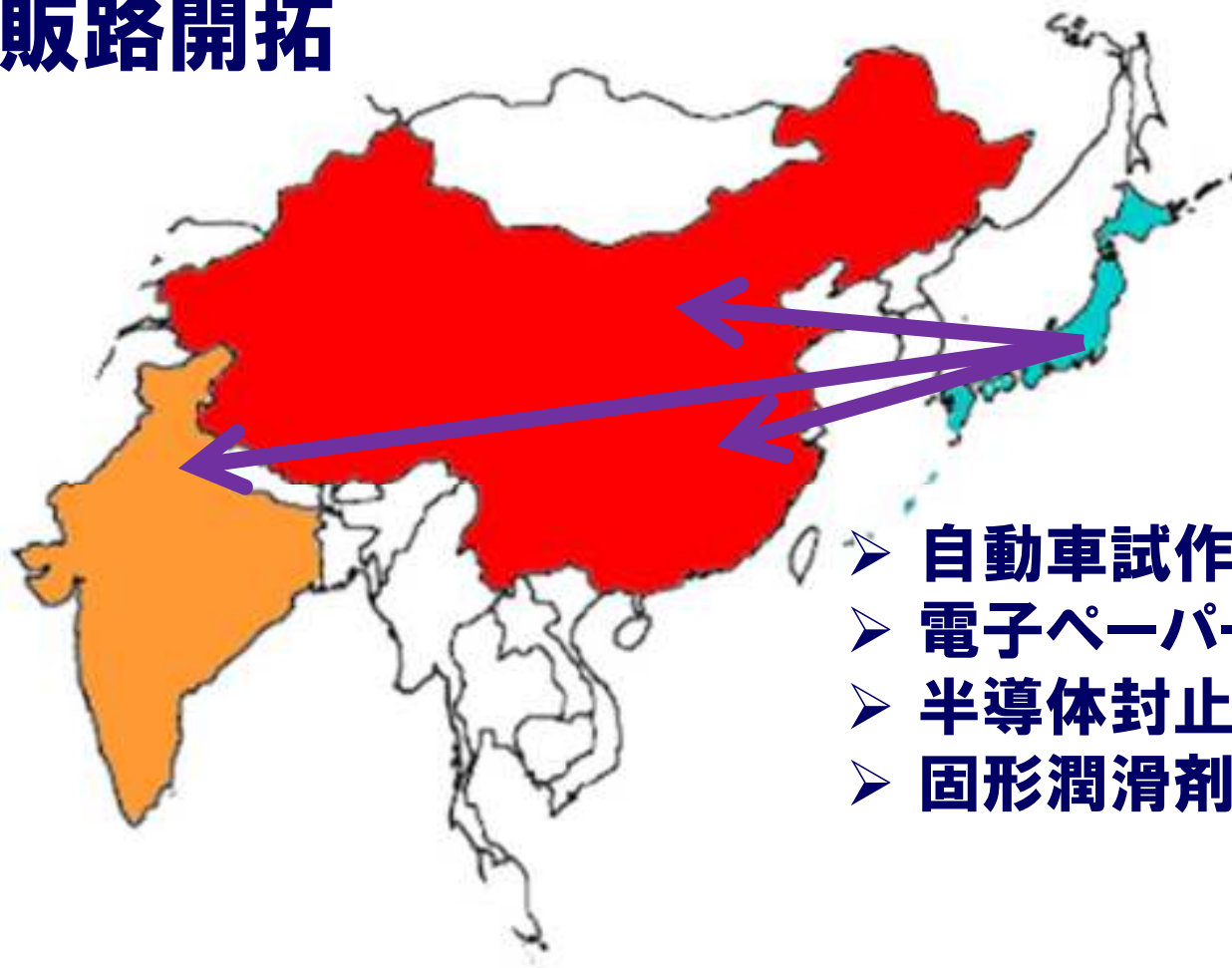
## 燃料電池用パーツの開発継続



燃料電池



燃料電池 セパレーター

日・中・印のサービスビューロへの  
販路開拓

- 自動車試作品開発
- 電子ペーパー
- 半導体封止剤
- 固形潤滑剤

**シャープ堺工場をはじめ国内半導体関連  
工場の操業度回復**

**⇒設備関連受注の回復の見込み**

- ・東芝車載用2次電池部品**
- ・シャープ堺工場向けローラー**



## 第3部

atect

# 参考資料

**2011年3月期の配当を実施予定  
一株あたり10円(予定)**

年月日	IRイベント	場所
2010年4月28日	2010年3月期決算発表	
2010年5月14日	2010年3月期決算説明会	東京 兜町平和ビル2階
2010年6月23日	第41期定時株主総会	ヒルトン大阪
2010年7月30日	2011年3月期第1四半期業績開示	
2010年8月28日	個人投資家向けIRセミナー(東京IPO主催)	東京 ベルサール八重洲3階
2010年10月29日	2011年3月期第2四半期業績開示	
2010年11月22日	2011年3月期第2四半期決算説明会	東京 兜町平和ビル2階
2011年 1月下旬	2011年3月期第3四半期業績開示	

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。が、当資料記載の業績見通しのみを全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

#### 本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 管理ディヴィジョン IR担当

TEL : 072-967-7000

E-mail : ir@atect.co.jp